

交渉情報	NO.20	日本郵便信越支社 郵便・物流営業部
JP労組信越地方本部	2017年9月14日	添付資料:76枚

2017年度 コメゆうパック運送計画について

日本郵便信越支社郵便・物流営業部は、本日（9月14日）「2017年度 コメゆうパック運送計画について」について地方本部に説明してきました。

標記概要は、新潟県各地域における「コメゆうパック」等の取扱増加に対応するため、臨時運送施設を設定し、円滑かつ効率的な運送を確保するものです。詳細については支社資料を参照願います。

支社資料①

9 5 地域 2017年周期特産品ゆうパック差し立てオペレーション計画

9 4 地域 2017年周期特産品ゆうパック差し立てオペレーション計画

1) 昨年度との大きな違いは、新潟局開局に伴い9 5 地域（全て）と9 4 地域（昨年度まで長岡局へ送付していたもの）は新潟局へ送付後、全国差立となります。

※ 新井局・関山局・妙高高原局については、昨年度は高田局へ送付していましたが、今年度は新潟局へ送付します。

2) 期間中の取扱個数は前年比 103%の約 3 5 万個を想定しています。

3) 荷量増加に対応するため、運送便の増強「早い集荷（午前中集荷）」及び「重量物ゆうパック取扱（余裕承諾）」を実施します。

支社資料②

増強ダイヤグラム

1) J P T、他支社との調整を行い、発着時刻・車種ともに最適な運行パターンで計画したとしています。

実施期間

2 0 1 7年9月15日（金）～11月19日（日）

※ 差立荷量の推移により延長する場合があります。

地本では以下の項目について質し、支社と確認をしました。

(1) お客さまとの余裕承諾確認のトラブルが発生しないよう職場周知を徹底すること。

- (2) 例年問題となるパレット不足を解消すること。
- (3) 六日町集約エリア「米スキー分室」休暇要員も含め適切な要員配置とすること。
- (4) コメゆうパック対応が初めてとなる新潟局の業務運行がスムーズに行くよう万全を期すこと。また、業務運行に合わせた適切な要員配置とすること。

【労使対応】 情報提供